

まちづくり懇談会議事録【公開用】

日 時：令和元年 10 月 18 日（金）18 時 30 分～19 時 56 分

場 所：旭台生活環境改善センター

出席者：9 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 今年度のまちの動き（資料①）

※質疑応答

4. これからのまちづくり（資料②）

5. 懇談

6. その他

(1) 出前型政策・施策説明会「栗山町のまちづくり」について（資料③）

※質疑応答

7. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院について】

町長：

日赤病院が最大の問題。建物の状況から判断すると、改築を含め、新しく病院を作らなければならない。近隣の町にも呼び掛けているが、なかなかうまくいかない状況。病院は町の核になるものなので無くすことはできない。

町民：

日赤病院は公立ではない。日赤病院側が今後継続したいのか、辞めたいのかの方向性を知りたい。

町長：

日赤病院としては、何とか栗山町での経営を維持していきたいという考えを持っている。町でお金を出して整備をし、日赤病院が経営をしていくことで維持を考えている。

【北海道介護福祉学校について】

町長：

介護福祉学校の存続について、皆さんはどう思っているのか？介護福祉学校の定員と

教員数を減らすことで人件費を落とした形で存続を考えている。介護福祉士不足が重要な問題となっているため、養成校を無くさないように国に働きかけているが、難航している。国は、外国人雇用や有資格者を掘り起こす、高齢者の再雇用といった方向にシフトしているが、施設においては、しっかりとした介護技術・知識をもった方が核となる仕組みが必要ではないかと考える。しかし、国の制度を変えるのは難しいところがある。

町民：

入学者の生徒数がどうしてこんなに少なくなったのか。

町長：

少子高齢化の影響や、介護士の低賃金、過酷な労働環境が影響し、目指す人が減っているのではないかと考える。

教育長：

介護職に好意的な見方をしていない。3K（汚い、きつい、給料が安い）で扱われている。

報道で取り上げられた内容にも影響があると思うが、それらのうち、ほとんどの方は、介護福祉士の資格を持っていない、専門的な学びをしていない方。しっかりとした教育を受けた人が中に入っていき、核になって進めていくという仕組みが十分でないため、そういった認識を持たれているのではないかと考える。

また、平成 26 年を境に急激に入学者数が減少しているが、この時期から介護福祉士の制度が変わり、国家試験を合格しないと資格が与えられなくなったことも影響している。加えて、この時期に就職状況が大きく変わり、社会全体で人出不足と言われ始め、介護を目指す学生が少なくなったことも要因であると考えます。

今後、間違いなく日本で介護福祉士が必要になってくる。学生に介護のやりがいを感じてもらえる取り組みをしていくこと、町民の方に向けても介護福祉学校について周知していくことが必要だと考える。

町長：

今後も定員が 40 人に満たない状況が継続されれば、閉校する選択を迫られることもある。

【栗山高等学校について】

教育長：

志願者数については、願書受付まではわからない部分もある。栗山高校の子どもたち

が地域に出て、赤い羽根募金に協力したり、お祭りのときにお手伝いをしたり、ボランティア活動をしている。栗山高校も変わろうとしている。

【栗山駅周辺・商店街について】

町長：

駅前活性化で農協倉庫を購入し、まちづくり拠点施設を作る。耐震工事を行い、DIY 工房を作るが、4 年後の運営に携わるため、地域おこし協力隊 2 人を採用した。2 週間の町内研修・成果発表会を終え、明日から鎌倉市に 1 年間研修に行き、いろいろなノウハウを学ぶ。令和 4 年から彼らが DIY 工房を運営していく。ものづくりの好きな方の集まる施設になればと思っている。

もう一つ、地域コミュニティ FM 局の開設を計画している。栗山町には防災無線がなく、昨年の災害時に情報伝達手段が課題となったため、情報を配信していくことを目的に FM 局の開局を考えている。

また、現在、光回線がない地域もあるため、情報格差がないように今後は検討していかなければならない。

【全体を通して】

福祉総括：

保育料の無償化について、もし疑問な点などあればご連絡いただきたい。病院については、方針を考えて進めていきたい。

町民：

台風で東北など大きな被害があった。河川に泥が堆積してたまり、大雨の時に氾濫の心配がある。河川の清掃はできないものか？

建設総括：

河川の流れが悪いところがあれば、随時整備していく。各町内会・自治会に来年度の要望を聞いている。要望を出していただくと調査に伺うので、ぜひ報告してほしい。

町長：

川の氾濫は恐ろしい。台風第 19 号の時も阿武隈川の氾濫により、広範囲にわたり被害が出た。

町民：

企業誘致について、新たな企業の参入などの情報があれば教えてほしい。

産業総括：

現在、2～3 の企業が声を上げているが、まだ正式ではない。一つは森林組合と連携し、チップ工場の誘致を工業団地に協議調整中である。

また、コンテナぐらいのサイズの小規模発電施設を工業団地に設置しようという計画もある。詳細は工業団地の企業や、近隣の方々へ説明会を開催する予定。